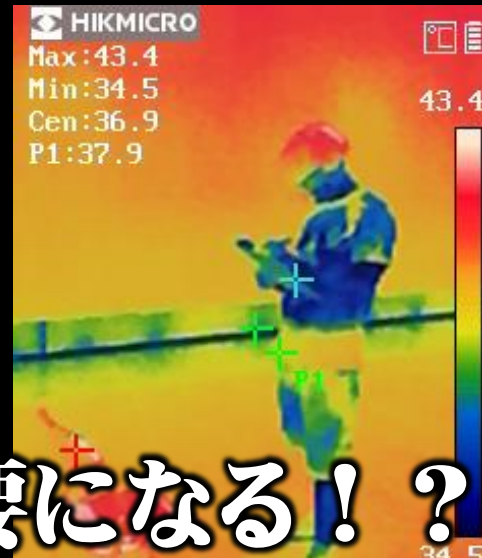




農業鑑定競技会

校内大会＝全国大会代表予選会

熱(暑)かった農業鑑定競技



給水ポイントが必要になる! ?

年々気温が高くなり、異常気象がクラブ員の集中力を妨げている。滴る汗を拭きながら、一問一問に真剣に取り組む姿には、心を打たれるものがある。熱中症対策として、半袖・短パンでの開催を行っているものの、暑さを完全に避けることはできない。来年は今年の反省を踏まえ、給水ポイントの設置や競技会場の変更なども視野に入れた対策が求められる。

校内平均13.2点…君たちはどう捉えるか?

40秒問題の回答率と正答率…目指すは、両方とも2問100%

	回答率		正答率
2問	52.5%	2問	8.1%
1問	31.3%	1問	23.2%
0問	16.2%	0問	68.7%

農業高校生として身につけるべき知識

今回も多くクラブ員が、休み時間や放課後、休日を利用して勉強に励む姿が見られました。一方で、農業鑑定競技の存在すら知らない生徒がいたことには驚きました。農業鑑定競技とは、普段の授業や実習で学んだ知識や技術を元に問題に挑戦し、知識を競い合う競技です。今回の競技会では、第1回・第2回を通しての平均点が、40点満点中13.2点でした。この「13.2点」という数字を、皆さんはどう捉えますか? 農業クラブ員として、この現状のままで本当に良いのでしょうか。一方で、得点にはつながらなくとも、40秒問題(計算問題)に果敢に挑む姿勢も見られました。これまでであれば手をつけようとしなかった問題に、約半数以上のクラブ員が取り組んでいたことは、大きな成長と捉えることができます。次の目標は、知識・姿勢の両面で「100%」。それを目指して、これからも努力を重ねていってほしいと思います。